

● 入賞団体・個人を毎月表彰
● 大賞決定は来年3月
● 読者投票で!

リビングおかやまでは、創刊25周年記念企画「リビングふるさとエコ大賞」を創設。応募のあった団体・個人から10組の入賞者を決定し、毎月1組ずつ、その取り組みや思いを紹介していきます。持続可能な社会を創るために何ができるのか、読者の皆さんと一緒に考えてみませんか。

リビング
ふるさと
ECO大賞
Vol.05

入賞 NPO法人グリーンパートナーおかやま

不法投棄のごみ回収から出発 瀬戸内海の美しい自然を守りたい



プロフィール

1998年、甲浦学区環境を守る会を発足。金甲山周辺の見回りと不法投棄のごみの撤去をスタート。2000年、グリーンパートナーおかやまと名称変更し、2002年にNPO法人に。金甲山周辺のごみの回収と清掃をはじめ、花いっぱい運動、おかやまサマークリスマス、自然体験リーダー養成講座、高島春宵祭、「瀬戸内の環境、歴史、景観を語る船上シンポジウム」の開催など、多岐にわたった活動を展開中。NPO法人グリーンパートナーおかやま 岡山市郡 12-2 ☎ 086(267)2478

「自分の地域を他人任せにはできない」
さまざまなかごみの山と格闘し続けて11年

テレビや扇風機、冷蔵庫、たんす、布団、空き缶、紙おしめ、乗り捨てられた自動車など……。ある日、甲浦(こうろ)学区環てきたと話すのが、NPO法人グリーンパートナーおかやま代表の藤原増美子(ふじこ)さんです。「電化製品なんか、まだかわいいもの。クロム、アスベスト、ヒ素、中身不明の化学薬品が詰まったドラム缶まで捨てられているんだから。車のタイヤを大量に捨てることもありましたよ」と藤原さん。

岡山市郡に住む藤原さんは呼びかけて、グリーンパートナーの前身となし、必死の思いで立ち上がりました。甲浦(こうろ)学区環てきたと話すのが、NPO法人グリーンパートナーおかやま代表の藤原増美子(ふじこ)さんです。「電化製品なんか、まだかわいいもの。クロム、アスベスト、ヒ素、中身不明の化学薬品が詰まったドラム缶まで捨てられているんだから。車のタイヤを大量に捨てることもありましたよ」と藤原さん。

岡山市郡に住む藤原さんは呼びかけて、グリーンパートナーの前身となし、必死の思いで立ち上がりました。甲浦(こうろ)学区環てきたと話すのが、NPO法人グリーンパートナーおかやま代表の藤原増美子(ふじこ)さんです。「電化製品なんか、まだかわいいもの。クロム、アスベスト、ヒ素、中身不明の化学薬品が詰まったドラム缶まで捨てられているんだから。車のタイヤを大量に捨てることもありましたよ」と藤原さん。



定期的に山に入ってごみを回収しています。現在、会員は約150人、中心メンバーは20人。



回収の作業にもひと苦労



乗り捨てられた車を見かけるのもしばしば



2005年、児島半島小串地区の米崎海岸で「海岸・干潟生物調査」を実施。子どもたちが学ぶ機会にもなります

★リビングふるさとエコ大賞
審査委員長・青山勲(いずみ)さん★
(岡山大学研究推進本部副本部長)

非常に大きな社会問題である廃棄物問題と真正面から取り組んできたグループ。不法投棄のごみの回収という大変な活動を長く継続してきたことが評価対象になりました。



不法投棄というマイナ
スイメージのある金甲山
ですが、もともとこの周
辺にはカスミサンショウ
ウオといった希少な生き
物も生息していて動植物
の多様性は目を見張るも
のがあります。
回団体は今年から着手
したのはカスミサンショウ
ウオといたった希少な生き
物も生息していて動植物
の多様性は目を見張るも
のがあります。



代表の藤原さん

コバノミツバツツジを瀬戸内海のシンボルに。地元の種子から育てて増やしたい

自然の中で遊べば自然との付き合い方も
覚えるし、生きるエネルギーをもらえる

取材は、藤原さんのお宅にお邪魔して伺ったのですが、熱意のこもったお話に圧倒されました。その源は何でしょうか。

「子どものころ自然の中で思いっきり遊んだことがエネルギー源になっていまます。今の子どもたちは、川で遊ぶことも木に登ることも経験しないまま大人になってしまっています。自然への愛着がないからごみを捨てても平気になるんです。私が子どもを育てる時は、川で遊ぶのも川も海も全部つながっているから、いろいろなことをやらせてあげたいの

「子どものころ自然の中で思いっきり遊んだことがエネルギー源になっていまます。今の子どもたちは、川で遊ぶことも木に登ることも経験しないまま大人になってしまっています。自然への愛着がないからごみを捨てても平気になるんです。私が子どもを育てる時は、川で遊ぶのも川も海も全部つながっているから、いろいろなことをやらせてあげたいの



海岸・干潟生物調査にて

今年の秋には、漁業者と一緒に海底ごみを底引き網で拾う活動をする予定です。グリーンパートナーの活動範囲は広がっていくばかりです。